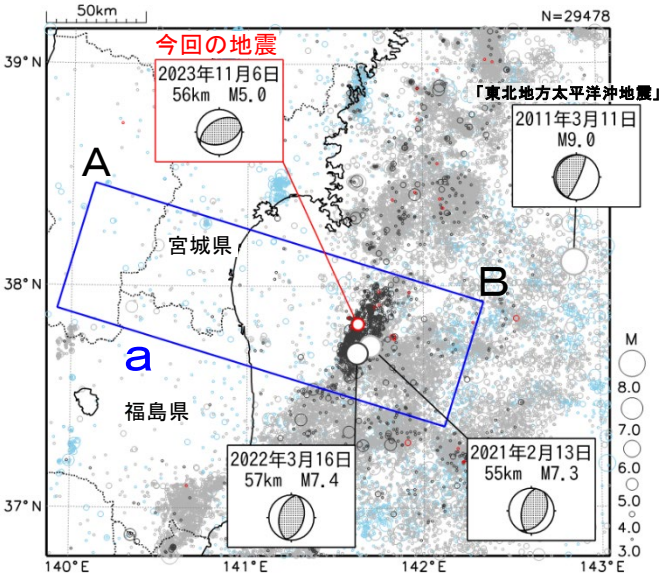
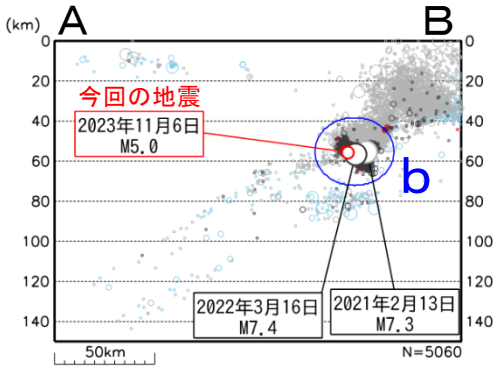
11 月６日　福島県沖の地震

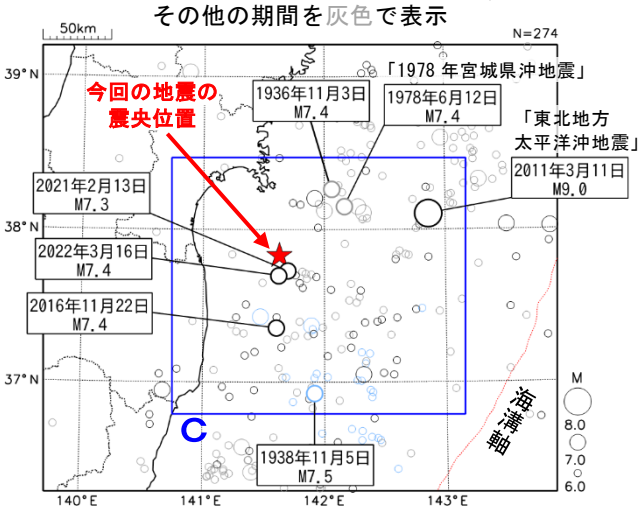
震央分布図
（1997 年 10 月１日～2023 年 11 月 30 日、
深さ０～150km、M≧3.0）
2011 年３月 10 日以前に発生した地震を水色、
2011 年３月 11 日以降に発生した地震を灰色、
2022 年３月 16 日以降に発生した地震を黒色、
2023 年 11 月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



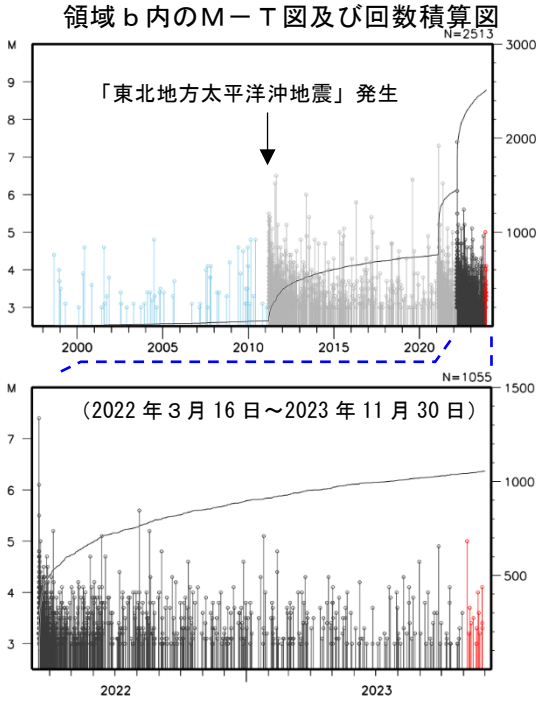
震央分布図
（1919 年１月１日～2023 年 11 月 30 日、
深さ０～150km、M≧6.0）
1938 年 11 月５日～1938 年 11 月 30 日の地震を水色、
2011 年３月 11 日以降の地震を黒色、
その他の期間を灰色で表示

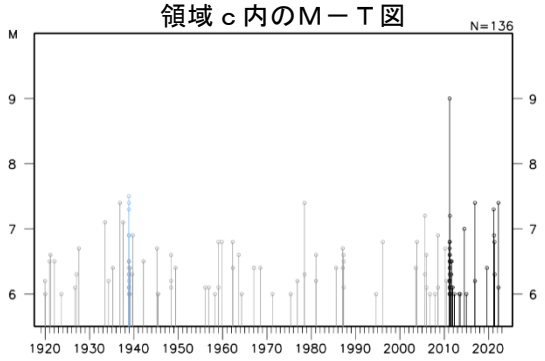


2023 年 11 月６日 02 時 10 分に福島県沖の深さ 56km で M5.0 の地震（最大震度４）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT 解）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震源付近（領域ｂ）では、2021 年２月 13 日に M7.3 の地震（最大震度６強）、2022 年３月 16 日に M7.4 の地震（最大震度６強）が発生し、以降、これらの地震の発生以前に比べて地震回数の多い状態が継続している。

1997 年 10 月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域ｂ）では「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は M5.0 以上の地震は発生していなかったが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0 以上の地震が時々発生している。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前から M7.0 以上の地震が時々発生しており、1938 年 11 月５日 17 時 43 分には M7.5 の地震（最大震度５）が発生し、宮城県花淵で 113cm（全振幅）の津波を観測した。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図